

会議録

会議名称	令和7年度第1回会津坂下町地域公共交通協議会
開会及び閉会日時	令和7年6月26日（木）13:30～
開催場所	会津坂下町役場 3階 大会議室
出席者	委員：古川庄平（会津坂下町長）、荒井盛行（会津坂下町社会福祉協議会）、安部和人（会津乗合自動車株）、鈴木清介（会津坂下町区長・自治会長会）、菅家篤（会津坂下町幼稚園長・校長会）、五十嵐正康（会津坂下町商工会）、斎藤龍（会津坂下警察署）7名 事務局：長谷川課長、山垣班長、荒井係長、大竹副主査

<内容>

司会：山垣政策企画班長

1 開 会 出席7名、委任状による出席5名、計12名となり半数を超え会議は成立

2 会長挨拶 （古川庄平会津坂下町長）

3 報告事項

- （1）会津坂下町地域公共交通協議会について
- （2）令和6年度公共交通利用促進の取り組みについて

資料に沿って説明

古川会長：

道の駅の割引券について、大変ありがたいと褒められた。
道の駅までバスで行って使用できるし助かるから今後も続けてほしいと言われた。

鈴木委員：

使用目的は把握しているか？

事務局：

現時点では正確には把握していないが、病院や通学が主な利用となっている。なお、年度末に実施したアンケートを集計中であり、その結果を8月に提示。

4 協議事項

(1) 会津坂下町地域公共交通計画の策定について

町としての公共交通に対する方向性を定め、持続可能な地域公共交通の提供を確保するために「会津坂下町地域公共交通計画」を策定するため、背景と今後のスケジュールを提示
今年度については計画策定のため、今回を含め4回の協議会実施を予定

古川会長：

住民アンケートの範囲とは？

事務局：

15歳～80歳以上の方1,300人に発送。500人以上から返送があり集計中である。

「異議なし」として承認

(2) コミュニティバス実証運行の概要（案）について

コミュニティバス実証運行に至るまでの背景と実証運行に係る事務局案を提示。具体的には路線バスが運行していない空白時間等にエリアを設定し、集会施設又は集会施設の周辺を停留所として、公共施設及び主要商業施設等へ向かうコースで実施する。

現在の状況として、コミュニティバス運行のための車両確保に苦慮しているが、秋の運行を目指している。

荒井委員：

空白時間は何時から何時を想定しているか？乗客のターゲットとなる年齢層はどこか？

また、乗降場所案が西側の施設しか挙げられていないが、コンビニなどを乗降場所として設定できないものか？

事務局：

空白時間については大体9～15時の日中を想定している。ターゲットとなる相手は主に高齢者となる。まずは平日に運行し、需要が多くなれば土日運行も考えていく。停留所については今後、検討させていただきたい。

荒井委員：

コミュニティバスはどのくらいの台数を想定しているのか？

事務局：

現在、運行開始時は2台を予定している。しかし、確保が難しいことから、秋の運行開始時は1台での運行になる可能性が高い。

五十嵐委員：

デイサービスのワゴン車は使えないか？

事務局：

道路運送法や自家用有償運送の兼ね合いもあるため、町としてできるものか法的なものと照らし合わせて研究させていただく。

五十嵐委員：

厚生病院にできたアイランド薬局を使用する場合も多いため、そこも停留所としてはどうか？

事務局：

多様なやり方でひとりでも多くの方に利用していただける方法を模索していきたい。

五十嵐委員：

エリアはどのような範囲を想定しているのか？

事務局：

町内を想定しているが、現在どの運行方法になるか決まっていない。そのため、満遍なく意見を聴取するために、期間を決めて各地区で実施することも考えている。8月の協議会で示し協議したうえで決定したい。

古川会長：

停留所について、町医者も多くかかりつけ医も多いため東側も考えていく必要がある。また、バスは100%補助であり、実証も補助対象となった。地方創生という意味で該当したと思っている。そう考えた時に白ナンバーや緑ナンバーをどうするか検討が必要。

事務局：

今後、制約もある中で検討していく。また、補助として「コミュニティ助成事業」が該当しており、当初はノンステップ型と車いすが乗降できる型の2種類で採択を受けているが、現在は様々な事情を鑑みノンステップバス2台を購入することを想定している。8月に注文が開始されると情報もあるので、早急に対応していきたい。

「異議なし」として承認

5 その他

○バス待ちの子ども対応による業務実態について

菅家委員：

バスの下校について、バスで帰る生徒たちは教室で最長1時間53分待つことがある。そうすると職員が教室で対応することとなり、放課後に仕事が出来ず退勤時間が8時過ぎるのがほとんどである。他市町村は、スクールバスがありピンポイントで迎えに来るため、働く先生たちが会津坂下で働きたいと思えるような施策にするべき。登校時は問題ない。

事務局：

教育課からはすでに要望はあった内容であり、こちらはかなり重要な問題であると認識している。これについては専門的な視点からも検討が必要であるため、手続きや許認可などの現状も踏まえて改善されるように研究させていただきたい。また今後は協議会の中で様々なご意見をいただきたいと考えている。

古川会長：次回の検討事項としてこの案件をあげる。会津バスさんからも意見をいただきたい。

安部委員：いろいろなケースが想定されるので、理想的なところで調整できるよう検討していくこととなると思う。

事務局：コミュニティバスが本格運行することでこういったこともカバーできるようになるかもしれないと考えている。

○子どもの置き去りにについて

古川会長：春にバス置き去りがあったが、その対処としてバスに一番後ろの座席に行かないとブザーが消えないものを取り付け対応することとしたので報告します。

○委員報酬について

事務局：報酬について、年度末に一括で振込させていただきます。

6 閉 会